

豊小学校PTA会長 猪原一道

学校に図書館があること。そこに学校司書の先生がいること。子どもの読みたい！知りたい！気持ちを受け止め、しっかり応えてくれる。学校図書館は、子どもたちの豊かな学びを助け、健全な心を育てくれる大切な場所。

岡山市の学校図書館は全国に誇ることができる素晴らしい環境を整備してきました。その成果として、全国学力・学習状況調査での「読書が好き」という子どもの数の多さに表れているのだと思います。

PTAでも子どもたちの読書環境を充実させる取り組みとして、各教室への学級文庫の整備をしています。ここ数年、学校司書の先生にその学年にあった内容の本、授業に関係する本などを選定してもらっていますが、「子どもたちが学級文庫の本をよく読んでいますよ」と担任の先生が教えてくれました。普段から子どもたちに接している学校司書だから、子どもたち好みの本の選定をしてもらえたのだと思います。

私の子どもも本が大好きで、よく学校図書館で本を借りて読んでいますし、本を通じて、知ったこと、考えたことをよく教えてくれています。学校図書館で本を探す楽しみ、学ぶ楽しみを見つけているのでしょう。これも学校司書の先生が本との出会いを用意してくれているからだと思います。

そんな素晴らしい学校図書館を後退させることは、岡山市の損失です。むしろ学校図書館を充実させていくことを願います。

読書ボランティア

読書ボランティアを始めて、4年目、熱心に聞いてくれる子ども達と接する時はとても充実しています。しかし学年相応の本を探すのは、とても難しく戸惑うこともあります。そんな時、司書の先生に相談して数冊の本を提案されると、ホッとします。感謝です。押しつけのボランティアにならない為にも司書の先生の方がが必要です。

市民

学校司書さんがいつも図書館におられるので、子ども達は喜んで図書館へ行っていました。学校司書さんの果たす役割は大きかったと思います。岡山県立図書館が、全国第1位の地位を継続しているのは、岡山市が学校図書館へ司書を配置して子ども達に読書指導に力を入れてきた成果のように思います。この取り組みを是非、続けていただきたいと思います。

市民

20年前岡山市は早々と小・中全校への司書さんがおられるようになったのを覚えています。すばらしい！誇らしい！と思ったことを思い出します。現況はどうなのでしょう。心配です。

読書ボランティア

学校の図書館に司書がいるということは、岡山市の誇りだと思います。いつでも子どもに本が身近に感じられる場所が学校にあるのは、とても大事で、魅力だと思います。このままの環境を子どもたちから奪わないでほしいです。